

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 秋桜

## 目標達成計画書

作成日: 平成 29 年 10 月 24 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	会議のメンバーが固定化し、内容も報告中心になっているので、新しい参加委員を増員し、会議が充実した内容になるように、議題や内容を検討し、参加委員が会議に魅力を感じて、参加したくなる運営推進会議を目指していく。	参加委員を、複数の民生委員や薬剤師、地域で活動している有識者、知見者等に参加要請し、意見や要望、地域の問題等を話し合い、解決に向けて取り組み、ホームの繁栄だけではなく、地域貢献にも取り組んで行く。	12ヶ月
2		これからのグループホーム の在り方について	法律が毎年変わり、将来のビジョンや、中・長期計画が立てにくい現実の中で、職員が安心して働く事の出来る喜びや、職員一人ひとりのモチベーションを維持できる就労環境に取り組んでいく。	2025年には、認知症高齢者が現在の倍近くに増加すると言われていた中で、認知症介護の専門家として、職員一人ひとりの介護技術の質の向上に取り組み、地域の福祉事業の拠点として、頼りになるグループホームを目指していく。	24ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。